

CSR/環境レポート

— *Create The Future Communication* —

2015年6月

(レポート期間:2014年4月～2015年3月)

JCS *Create The Future Communication*
日本コンベンションサービス株式会社

□ CSR/環境方針

○基本理念 (組織の目的と価値の表明)

日本コンベンションサービス(JCS)は、- Create The Future Communication - を当社の経営理念に掲げ、コンベンション業界の草分けとして、コミュニケーションサービスを提供しております。

私どもは、事業を通じてCSRや環境配慮に継続的に鋭意取り組み、環境・社会・経済に配慮した企画提案・事業実施・成果継承をはかることに努め、持続可能な社会の実現に向け貢献することを目指します。

○行動指針 (サステナビリティ方針)

基本理念を具現化するための行動指針を掲げ、社会の要請に応じ、誠実な執務姿勢や公正さを推し進め、CSRや環境配慮など持続可能性の課題に継続的に取り組みます。

1. マネジメントシステムの維持

環境法令や社会的責任に関連する法令を遵守し、適用される要求事項についてマネジメントシステムやコンプライアンスの仕組みを整え、継続的な見直し・改善をはかります。

2. 環境負荷の低減

環境負荷の低減や汚染の防止を目指し、資源・エネルギーをはじめとした、リデュース・リユース・リサイクルの3Rを念頭におき、環境配慮に努めます。

3. コミュニケーション活動

CSRや環境配慮への取り組みについて社員への浸透をはかり、社外関係者やサプライチェーンにおける協力を仰ぐなど、コミュニケーション活動を推進し社会に発信いたします。

制定日：2008年7月1日

最新改訂日：2012年8月1日

日本コンベンションサービス株式会社
代表取締役社長 近浪弘武

□ 会社概要・事業概要

会社名	日本コンベンションサービス株式会社	Japan Convention Services, Inc.
本社所在地	〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞が関ビル18階 TEL: 03-3508-1211(代) FAX: 03-3508-0820	
代表者	代表取締役社長 近浪弘武	
創立	1967年(昭和42年)12月7日	
資本金	1億円	
社員数	248名(2014年3月)	
事業所 (エコアクション21登録範囲)	本社	〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞が関ビル18階 TEL: 03-3508-1211(代) FAX: 03-3508-0820
	関西支社	〒541-0042 大阪市中央区今橋4-4-7 京阪神淀屋橋ビル2階 TEL: 06-6221-5930(代) FAX: 06-6221-5938
	北海道支社	〒060-0807 札幌市北区北七条西1-1-2 SE札幌ビル6階
	東北支社	〒980-0824 仙台市青葉区支倉町4-34 丸金ビル6階
	中部支社	〒460-0003 名古屋市中区錦3-6-35 名古屋郵船ビルディング4階
	九州支社	〒810-0002 福岡市中央区西中洲12-33 福岡大同生命ビル7階
	京都支社	〒604-8161 京都市中京区烏丸通三条下ル饅頭屋町595-3生命京都ビル10階
	神戸支社	〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-9-1 神戸国際交流会館6階

事業概要

主な事業内容は、次のとおりです。

- ◇ コンベンションサービス
- ◇ 通訳サービス
- ◇ 翻訳サービス
- ◇ コンテンツ制作サービス
- ◇ 人材サービス

※会社概要の詳細については、当社ホームページをご覧ください。(URL: <http://www.convention.co.jp>)

管理責任者 コーポレートスタッフ本部 本部長 石井正樹

CSR/環境管理担当 CSR/環境推進事務局 平野孝至(CSR室長)

□ CSR/環境目標と実績

【CSR/環境目標と実績】次の3つの目標を掲げ、取り組みを行い、下記のような成果を得た。

1. 環境配慮の仕組みの浸透 →○

イベント・サステナビリティ認証ISO20121とエコアクション21、ともに社内に浸透をはかるとともに、認証の意義を社外に情報発信している。

2. 電力・紙等における省資源

【電力・紙等の目標】中長期目標を2011年度より5年単位で設定する。

		2013年度	2014年度	2015年度
電力	(kWh/人)	-3%	-4%	-5%
OA用紙	(枚/人)	-5%	-5%	-5%

※1…基準値を2009年度実績(2009年4月～2010年3月)として算定。

人数は、常用雇用者数(FTE:full-time employees)は下記※5による。

※2…水・ゴミ分別については数値目標を設定せず、日常の取り組みを行う。(テナントビルのため個別データなし)

【電力・紙等の実績】

		2009年度通期		2011年度通期		2012年度通期		2013年度通期		2014年度通期	
		上期 4-9月	下期 10-3月	上期 4-9月	下期 10-3月	上期 4-9月	下期 10-3月	上期 4-9月	下期 10-3月	上期 4-9月	下期 10-3月
電力	(kg-CO2)	219,566		210,532		211,354		189,968		165,612	
	(kWh)	521,427		500,457		502,419		451,372		393,707	
	(kWh/人)	2,333		2,229 (95.6%)		2,152 (92.2%)		1,707 (73.1%)		1,394 (59.7%)	
		1,195.7	1,137.3	1,140.5 (95.4%)	1,088.7 (95.7%)	1,122.6 (93.9%)	1,029.1 (90.5%)	911.6 (76.2%)	794.9 (69.9%)	705.8 (59.0%)	687.8 (60.5%)
OA用紙	(枚)	5,303,248		6,282,243		7,026,859		7,400,081		7,317,836	
	(枚/人)	23,728		27,983 (117.9%)		30,094 (126.8%)		27,978 (117.9%)		25,904 (109.2%)	
		11,887	11,841	14,065 (118.3%)	13,918 (117.5%)	15,293 (128.7%)	14,800 (125.0%)	13,654 (114.9%)	14,324 (121.0%)	12,599 (106.0%)	13,305 (112.4%)
	両面使用割合	13.8%	13.8%	16.0% (2.2%)	17.8% (4.0%)	19.8% (6.0%)	19.5% (5.7%)	21.9% (8.1%)	21.7% (7.9%)	21.1% (7.3%)	20.7% (6.9%)

括弧内＝基準年度比

※3…実績は検針締日ベースで集計、電力のCO2排出量は環境省2008年12月発表「電気事業者別二酸化炭素排出係数」を用いて算出。

※4…水・ゴミ分別については、日常的に取り組みを行っている。

※5…FTE基準人数の見直し:従来の常勤社員数ベースを見直し、常勤社員数に非常勤社員数の1/2を加算した合計数をベースとすることに改めた。

(FTE='09年度:224,'10年度:233,'11年度:225,'12年度:234,'13年度:265,'14年度:283)

◆電力・OA用紙の推移(運用の達成度等)

電力 →○ :電力は、節電の取り組みとともに、サーバーの電力負荷低減や、拠点移転による効果などにより、基準年度比73.1%と大幅削減を達成。

OA用紙 →△ :OA用紙増の要因は、売上が伸びている拠点の影響が大きいが、FTE当りの基準年度比はほぼ2年前の水準に戻った。また殊に、両面印刷の実施度は、両面使用割合が継続的に伸びており、基準年度比7.9%増と、一定の成果あり。

3. サービス等における取り組み →○

業務上の主要サプライヤーに、CSR/環境配慮等の参画・協力を継続的に仰いだ。

□ CSR/環境配慮等の計画概要

【計画概要】

1. サステナブル・コンベンションの推進

(1) 「イベント・サステナビリティ認証(ISO20121)」を活かす

当社が企画運営するコンベンションなどに、イベント・サステナビリティ認証の仕組みをPDCAサイクルで回して運用する体制をより一層整備する。

(2) CSR/環境推進委員会を通じて、取り組みを継続的に見直し、改善

CSR/環境配慮等の取り組みを、CSR/環境推進委員会や社内掲示を通じて、社内に一層の浸透を図り、サプライヤーに対して協力を求める。

(3) 「イベント・サステナビリティ認証(ISO20121)」取得の意義を社外に発信

「イベント・サステナビリティ認証(ISO20121)」についての意義と、当社取り組み事例を、お客様や事業上のパートナーなどに紹介して、当社サービスを通じた活動の浸透をはかる。



2. 省資源への取り組み(電力・紙使用量等の節減)

(1) IT活用を進め、新たな事業スキームを創出

ITを活用した技術開発を進め、iPad やスマートフォンのアプリなどを使って会議資料・プログラム情報の配信を行い、印刷物や配布資料の紙使用節減などの省資源を促進する。



(2) 電力の節約に配慮

- ・クールビズ期間を前年に引き続き5月～10月に設定。扇風機を7月より配置して、空調の適温化の効果を高めるよう工夫し、節電に努める。
- ・エリアごとにこまめに電気の点け・消しを行い、電灯の間引きを可能なかぎり実施する。
- ・パソコンのモニター電源を長く席を空けたり、退社する時は落とす。

(3) OA用紙使用量を節減

- ・認証機能付プリンタの利用により、放置プリントをなくし、出力指定時の操作間違いを印刷直前に修正するなどして、ミスプリントも極力抑止する。
- ・両面プリント、2in1プリントの比率を高める。



(4) 節水やゴミ分別について、日常的な取り組みを行う

本社オフィスにおいては水道に節水コマを使用、日常的に節水に努める。

3. サービスにおける主な取り組み、CSR/環境配慮等

(1) CSR/環境配慮に取り組むパートナーを継続的に尊重、サプライヤーの参画を拡充 業務上の調達に関するサプライヤーとのコミュニケーションを通じ、CSR/環境配慮への参画を奨励する。(印刷制作・会場装飾の分野等)

(2) エコキャップ活動、カーボンオフセットへの協力

エコキャップ活動や制作物へのカーボンオフセット製品の利用を継続的にを行い、発展途上国の子どもたちへのワクチン支援や、地球温暖化防止などの社会貢献の一助とする。



□ CSR/環境配慮等の取組結果と評価、今後の取り組み

【サステナブル・コンベンション】

イベント・サステナビリティ認証「ISO20121」を日本初で取得した当社では、サステナブル・コンベンションやイベントのレガシー(成果の継承)について、その意義を再確認する時機と認識し、CSRや環境配慮の進展に鋭意取り組んでいます。

*イベント・サステナビリティ認証「ISO20121」～2020に向けてのレガシー

2013年に招致決定した東京オリンピック・パラリンピックでは、ロンドンオリンピックで開発されたイベント・サステナビリティ認証「ISO20121」の導入が表明され、2020年の開催に向け、サステナビリティへの関心が高まりつつあります。

■サステナブル・イベント・セミナーを仙台・東京で開催

ーグリーン&アクセシブルな会議運営を通じた社会貢献のありかたを考えるー

2015年3月に仙台で開催された第3回国連防災世界会議に合わせて「サステナブル・イベント・セミナー」を仙台と東京の2都市で、イベントによる社会貢献のあり方やサステナビリティをテーマに開催。

政府・自治体、NPO・NGO、会議施設、イベント関連事業者、出版社、学生など幅広い層から多くの参加者が集まり、国連防災世界会議の主要テーマである防災・減災・復興に向けたサステナブルな取り組み事例、サステナブル・イベントのビジネスの可能性や世界のトレンド、都市のブランドに与える影響、ロンドンオリンピックでのISO20121認証事例や組織委員会サステナビリティ責任者からのビデオメッセージなど、盛りだくさんの内容を紹介しました。

■当社のサステナビリティの活動について、関連業界のセミナーで紹介

「オリンピック・パラリンピックのビジネスチャンスとサプライチェーンマネジメント(国際規格:ISO20121)の実践」というセミナーが損保ジャパン日本興亜株式会社が主催し2014年11月に開催。

当社は同社からの協力依頼をうけてセミナーでの発表を行い、BS8901(ISO20121の前身の規格)を2011年2月にアジア初で取得し、ISO20121を2012年8月に日本初で取得した経緯や取得後の効果などを紹介しました。また、2014年2月には、「国際観光コンベンションフォーラム2014 in 札幌」(主催日本コンベンション研究会)に当社の広報担当がパネリストとして参加し、CSRや環境配慮の取り組みの意義について発表しました。

【医学会議・市民向けイベント】

■「医」の博覧会、「未来医XPO '15」を運営

「医」の博覧会、第29回日本医学会総会2015関西 一般公開展示「未来医XPO '15」が、3月28日(土)～4月5日(日)の9日間にわたり神戸国際展示場(神戸市)などで開催され、その運営を担当しました。

iPS細胞の観察や手術支援ロボットの操作などが体験できる展示など、延べ29万人を超える来場者が参加し連日多くの参加者で賑わい、多数の一般市民の方々が医学について学ぶ機会を提供することができました。

【次世代の子供たちへ】

■絵本や文具の寄附を実施

震災で甚大な被害を受けた宮城県亶理郡山元町の図書館に対してNPO「一般社団法人みんなの図書館」の活動を通じて絵本の寄附を実施。当社社員が各家庭にあった絵本を社員総会に持参し、計150冊もの絵本が集まりました。

また、JICAが行う「世界の笑顔のために」というプログラムを通じ、当社関西支社から文房具の寄附を行いました。

【東北復興支援】

■仙台国際センター及び新展示場の管理運営を担当

仙台国際センターおよび新展示場の管理運営を青葉山コンソーシアムの一員として4月1日から開始しています。この新展示場(展示棟)の新設により、大規模な会議を誘致・開催することが可能になりました。オープンに先立ち「第3回国連防災世界会議」が3月に開催され、世界187の国連加盟国から6,500人以上が参集。防災に関する新しい国際的指針などが話し合われるなど、仙台で開催された最大級の国連関係の国際会議となりました。また、「第101回日本消化器病学会」が4月に開催、会議棟と展示棟をフルに活用した医学会が行われました。今後も地元企業のみならずと喜怒哀楽を共にしながらコンベンション運営や地域活性化に取り組みます。

加えて、省資源への活動については「エコアクション21認証」を維持・継続し、一定の成果と今後への課題を踏まえ、継続的に努力を重ねております。

こうした当社の事業を通じた取り組みにより、「CSR/環境配慮」や「イベントの安全・安心」につながる活動を、今後も鋭意続けていきたいと思っております。

□ 環境関連法令等の遵守状況

【遵守状況】

適用される主要な環境関連法令等については適切に遵守しており、法令等の逸脱はありません。

(下記に、■:遵守/□:未遵守 として示します。)

【主な関連法令】

- 廃棄物処理法
- 家電リサイクル法
- 省エネ法
- 騒音規制法
- 消防法
- 労働安全衛生法等

□ 代表者による評価と見直しの結果

【マネジメントレビューにおける主なアウトプット】(2015年6月実施)

当社は、「サステナブル・コンベンション」をキーワードとして、サステナビリティ(CSR)や環境配慮の実現のために、マネジメントシステムの仕組みを整えています。

- ・「BS8901」認証取得 …2011年2月＝アジア初
- ・「ISO20121」認証取得…2012年8月＝日本初

こうした仕組みのもと、当社の事業を通じ、サステナビリティ(CSR)への取り組みや省資源をはじめとした環境配慮への取り組みについて常に見直しを行い、新たな事業スキームの創出や課題達成を期しています。

今後も、「サステナブル・コンベンション」に向けた成果が引き続き継承されるよう、スパイラル的な改善・チャレンジを目指してまいります。

□ CSRに関連する活動 - グローバル・コンパクトへの参画 -

当社は、代表者が表明する「CSR/環境方針」のもとに CSR活動に取り組んでおり、環境配慮・人権尊重・労働基準・腐敗防止等の原則にもとづく国連グローバル・コンパクトのアプローチを尊重し、関連する活動を継続して支持しています。

(「CSR/環境方針」については、本レポートの冒頭ページをご参照ください。)

1. 環境配慮

当社のCSR/環境レポートに記載のとおり、当社の事業活動を通じて、環境配慮に鋭意取り組んでいます。また、当社と協力関係にあるサプライヤーについても、環境配慮のための取り組みを推奨しています。

2. 人権尊重

国際的に宣言されている人権の保護を支持し、関連する法令その他のコンプライアンスに留意するとともに、ステークホルダーや関連する当事者との対話等においても、公平性や多様性を尊重しています。

3. 労働基準

業務における労働安全に配慮するとともに、雇用機会の均等をはじめとした労働上の権利を適正に保護し、業務に携わる関係者にとって働きやすい業務環境を整え、より良いサービスの提供をはかります。

4. 公正取引と腐敗防止

当社におけるサービスの提供に際しては、お客様から業務を受託する段階から当社と協力関係にある業務委託先への協力依頼までの一連のサプライチェーンについて、公正な取引を殊に尊重しています。

さらに、これらの活動の成果を測定するために、環境側面をはじめ社会側面・経済側面等にも配慮しつつ、マネジメント・レビューを定期的実施し、持続可能性についての課題の進捗も踏まえて、継続的な改善をはかっています。

以上